



KUMAMOTO GREEN Rotary-Club



2013-2014年度 テーマ

国際ロータリー 「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」 R.I.会長 ロンD・バートン

地区方針 「良き友を得てロータリーを学び奉仕を实践しよう」 R.I.2720地区 ガバナー 赤山 武興

熊本グリーンR.C. 「魅力あるクラブにしよう」 熊本グリーンR.C.会長 山下 隆生

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 隆生 ■幹事：河島 一夫 ■会報担当：長野 義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2014年4月28日】

第1129回
 2013-2014年度 第36回
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介

■ 卓話者
 加藤神社 宮司 湯田栄弘 氏

友情の握手

会長スピーチ (山下 隆生 会長)

先週は、熊本グリーンローターアクトクラブとの合同例会でした。その時会員の皆様から提供された商品を含めて行われたフリーマーケットをのぞいてきました。日曜日で少し雨も心配しましたが、出だしから好調のようで私が見に行った時は半分の商品が売れてしまっていたようです。話によると、開店時にまだ値札も付けてない状態で多数のお客さんに囲まれ販売？強奪？されたとの話(笑)。掘り出し物やいい商品はその時すでに売り切れたようです。久しぶりのフリマだったからなのでしょう、開店時の荒木幹事のあたふたした様子が想像できます。

話は変わりますが、皆さんにも多少は関係するであろうという事件が私の身近に起こりました。

それは、メールののっとり被害です。最近、インターネットなどの普及で、パソコンの作業が仕事の大半を占めております。以前は、電話や手紙のやり取りであったのが、FAX や電子メールのやり取りですべての段取りや確認を行って時代が変わりつつあります。私も仕事のやり取りや確認を電子メール等で行っています。今回被害にあったのは、現在就活中の娘でした。

我々世代と違い最近、ネットを利用した就職活動も多く、メールによる確認や合否判定も連絡が来るようです。今回、地元での就活で帰ってきてる娘のメールのID、パスワードが何者かにより盗まれたようです。娘のメールには、就活の連絡や飛行機の予約連絡など、すべてが削除されており、誰かが見て削除した形跡があるようです。ウイルスによるパスワードの漏れかもしれませんが、身近に起こると人事ではありません。よく、定期的にパスワードを変更しようという案内が出ますが、やはりこのような事態になることも考え、自己防衛や早期対策も必要なのでしょう。便利になった世の中ですが、ネットにだけ頼るのではなく、ある程度必要なものは紙ベースでの保存も必要だと再認識しました。

皆様も仕事やプライベートでメールを利用する場合も多いと思いますので、メールの乗っ取りが人事ではないと感じ、日々注意しておきましょう。



- 5/12 クラブ・フォーラム
「クラブ定款・細則の改正について」
例会：18:30~ クラブフォーラム：19:00~19:25迄 臨時総会：19:25頃~19:30
- 5/19 「新旧クラブ協議会」★例会時間20:30頃迄延長
例会：18:30~ 新旧クラブ協議会：19:00~20:30迄
- 5/26 大友 利行 会員卓話

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

幹事報告

(河島 一夫 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「熊本東南ロータリークラブ創立30周年記念式典」ご登録のお礼状が届いております。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本水前寺公園RC】

①5月14日(水)例会は、「水巡り例会」のため、同日12:30より、塚原古墳より霊巖洞にて行います。

②5月21日(水)の例会は、水前寺江津湖公園清掃のため、5月16日(日)7:30より、ボナパティにて朝食例会を行います。

【熊本西稜RC】

5月28日(水)の例会は、夜例会のため、同日19:00より、全日空ホテルニュースカイにて行います。

出席報告

(クラブ管理運営委員 田中 純司会員)

	会員総数	26名	出席率
4月28日	出席免除会員数	2名	66.67%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	16名	
4月17日	前回の出席会員数	12名	69.57%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	16名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・4/6 地区研修・協議会 田中 君			
・4/10 熊本北RC 河島 君			
・4/16 熊本水前寺公園RC 廣坂 君			
・4/17 熊本西南RC 石浦 君			

委員会報告

①「ロータリーの友」4月号内容紹介
報告者: 江上泰弘クラブ広報委員長



スマイル

荅 孝之 クラブ管理運営委員(スマイル担当長)

●山下 隆生 君、河島 一夫 君

①「ただでさえ少ない会員なのに、出席が少ないと寂しいです。お誘い下さいまして御出席願います。」

②「本日の卓話者、湯田栄弘(しげひろ)様、ようこそお越し下さいました。よろしくお願ひ致します。」

●趙 健次 君

「本日の卓話者、加藤神社 宮司 湯田栄弘様の御来訪、心より歓迎致します。京町在住の節は、加藤神社子供会にて子供達が大変お世話になりました。今でもその時の事を家内となつかしく語っています。」

●松村 秀逸 君

「本日の卓話者、加藤神社 宮司 湯田様に心から感謝しスマイルします。」

●荒木 一之 君

「本日の卓話者、湯田様に心から感謝しスマイルします。卓話楽しみにしています。」

●栗山 義則 君、長野 義文 君、十時義七郎 君、大友 利行 君、荅 孝之 君

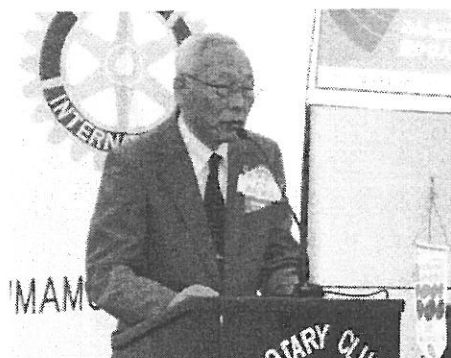
「本日の卓話者、加藤神社 宮司の湯田様にスマイル致します。(十時会員)」

「スマイルの予定額になりつつありますがまだまだと思い頑張れと誓う事でした。今後よろしく。」

3. 例会プログラム

卓話者:加藤神社 宮司 湯田栄弘 氏

演 題:「清正公に学ぶこと」



Rotary Leader (ロータリーリーダー: 2014年5月号より)

新しい補助金 「車輪のついたグローバル補助金」

車の寄贈をお考えですか？

持続可能性とニーズ調査がグローバル補助金申請のカギ

マンモグラフィ機器と超音波機器を搭載したバスが、インド、タミールナドゥ州をまわり、貧しい女性たちのための乳がん検診と、自分でできる乳がん検査の大切さについての教育を行っています。



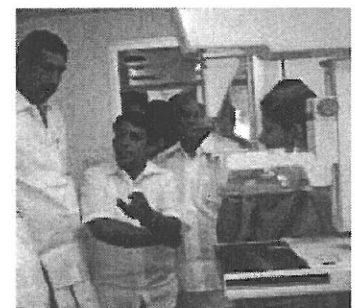
「マンモバス」(乳がん検診バス)と呼ばれるこのバス(搭載された医療機器を含む)は、ロックビル・ロータリークラブ(米国)と第3000地区(インド)のロータリー会員が、Dr. K. Shantha Breast Cancer財団との協力の下、グローバル補助金を使って寄贈したものです。同財団がこのバスを使って、乳がんの早期診断のための医療従事者への研修や、車両と機器のメンテナンスを行います。また、バスでインド南部の学校や大学、大きな祭の会場に赴き、搭載されたビデオ機材やパンフレットを使って、乳がんへの認識向上も行っています。

このプロジェクトは、グローバル補助金で車を購入するプロジェクトをどう実現できるかを示す良い例です。どのグローバル補助金申請書でも、大切な第一歩となるのが、地域社会のニーズ調査です。

単に車を寄贈するだけで終わってしまうプロジェクトが多い中、地域社会のニーズ調査を行うことで、移動型設備がなければサービスを受けることのできない人びとのニーズがわかります。また、医療従事者や地元住民への教育を通じてプロジェクトの成果を持続できるため、グローバル補助金申請の全条件が満たされます。

「マンモバス」プロジェクトでは、インドのロータリー会員がDr. K. Shantha Breast Cancer財団とともに乳がんへの認識向上のニーズについて話し合いました。その後、インドのロータリアンが米国を訪れ、米国のロータリアンとともにさらに検討を重ね、バスを用いた移動式設備によって、「地理的に離れた地域への医療と教育」と「乳がん診断機器の不足」という2つのニーズを克服できると判断しました。

米国側でプロジェクトの指揮にあたったのは、C.K.ディーナンさん。元外科医である彼が会員となっているアメリカ・タミル医師会からこのプロジェクトに5,000ドルが寄付され、プロジェクトのための資金は合計68,000ドルとなりました。この資金を元手に、ロータリー会員が現地委員会をつくり、Dr. K. Shantha Breast Cancer財団と密に協力してバスと機器の手入れ、および患者記録の管理を行うことになりました。ディーナンさんと医師会の医師らは、現地の状況確認や医療従事者の研修のために、頻繁に現地を訪問しています。



インドと米国のロータリークラブから寄贈されたマンモバス(左上の写真)。Dr. K. Shantha Breast Cancer財団がこのバスを使って検診や研修を行い、メンテナンスも行っています。右上の写真は、お披露目式(2012年)でバス内を見学する政府高官。

成功したそのほかの車両寄贈プロジェクト

台湾発: 遠隔地に住む人びとのための結核の治療、検診と薬剤の運搬のためにバンを改造。さらに、バンに搭載されている大型スピーカーを使い、予防医療に関する研修のためのボランティア集めも行っています。

ネパール発: カトマンズ周辺で献血(血液検査を含む)を行うための移動車両が活躍しています。

ハイライトよねやま169号より

①各地区で新奨学生のオリエンテーションがスタート

2014 学年度の奨学生は 724 人となりました。国・地域別では中国が 40.6%、次いで韓国が15.8%、ベトナム 9.8%、台湾 5.5%の順となっています。中国・韓国籍の割合が 2 年連続で減少しており、両国の来日留学生数そのものが減少していることでもあります。地区選考委員会が国・地域の偏りに配慮して選考していることが伺えます。プログラム別では、今年度初めて学部課程が 261 人と最も多くなり、次いで修士課程が 257 人、博士課程が 178 人、そのほか、地区奨励奨学生(12 人)やクラブ支援奨学生(10 人)などとなっています。

4 月～5 月中旬にかけて、各地区でオリエンテーションが開催されます。米山奨学生としての義務やこの事業の意義を理解してもらい、確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。

また、オリエンテーションでは学友会メンバーも受付や学友会の説明に活躍しています。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

②さいたま大空ロータリークラブ加盟認証状伝達式

昨年 11 月 4 日に創立した「さいたま大空ロータリークラブ」(第 2770 地区)の国際ロータリー加盟認証状伝達式が 3 月 23 日、さいたま市内で開催されました。このクラブは、24 人の創立会員全員が財団学友と米山学友で構成されており、会員の出身国は 6 カ国、平均年齢は 35歳という国際色豊かな新世代のクラブです。初代会長は米山学友の季成哲さん(2005-06/川口モーニングRC)、幹事は米山学友の馬培金さん(1998-99/さいたま中央RC)です。



式典には約 280 人が参加し、恵川一成特別代表(大宮シティRC)、地区クラブ拡大特別委員長・田村亮夫パストガバナーの挨拶のあと、季会長からロータリー財団とロータリー米山記念奨学会へそれぞれ寄付金が贈呈されました。その後、渡邊和良ガバナーから季会長へ加盟認証状が手渡され、国際ロータリー理事の北 清治氏ら

から祝辞が述べられました。記念祝賀会では、会員が優美な民族舞踊を披露し、自国や派遣先国の民族衣装を身にまとして現地語で挨拶をするなど、クラブの特色を生かした演出で参加者を楽しませました。最後は全員で「手に手つないで」を合唱し幕を閉じました。季会長は「国や民族、宗教、言葉などが違って、私たちは皆、ロータリーとの出会いによって、人生に大きな影響を受けた。これからもお互いを尊重し、共に奉仕活動を行う中で友情を育み、その素晴らしさを世界の平和のために発信していきたい」と、決意を述べました。

③寄付金速報 - 2013-14 年度もあと3カ月 -

3 月までの寄付金は前年同期と比べ 1.9%増、約 2,100 万円の増加です。普通寄付金が 0.02%増、特別寄付金が 3.0%増となりました。前年度比マイナスが続いていた普通寄付金がほぼ例年並にまで回復し、特別寄付金も、7 月からの累計額では直近 5 年間での最高額を維持し続けています。今後、残り 3 カ月の主な寄付金収入は特別寄付金となります。クラブ創立記念寄付も例年この時期に集中します。引き続き、皆さまからのご協力をよろしくお願い申し上げます。